

実践記録

学校/学年	小学校／2年	
教科等：単元名	学級活動：「コンピュータはおともだち」 (インターネットをつかうときのやくそく)	
キーワード	インターネット	
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	☐ 情報社会の倫理 ☐ 法の理解と遵守 ☒ 安全への知恵 ☐ 情報セキュリティ ☐ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	3 安全への知恵 e 1～3 情報を正しく安全に利用することに努める
	中目標項目番号 中目標項目内容	e 1－2 知らない人に連絡先を教えない
授業会場	☒ パソコン教室 ☐ 普通教室 ☐ 特別教室〔 〕 ☐ その他〔 〕	
学習の目標	コンピュータでいろいろなことができることを知り、知らない人に連絡先や名前を教えないという判断ができる。	
使用教材	教材名	ピーガルキッズサイバースクール
	製作者	神奈川県警
	入手先(URL 等)	http://www.police.pref.kanagawa.jp/mes/mesd0042.htm

○展開案

	学習活動	指導 評価◎
導 入	1 コンピュータでできることを出し合う。	・家庭や学校でコンピュータを使ってどんなことをしたか想起させる。
展 開	2 インターネットクイズにチャレンジする。	・自分だったらどうするか考えながらクイズに答えさせる。
お わ り	3 答え合わせをしながら、インターネットをつかうときのやくそくを読む。	◎知らない人に連絡先を教える危険性を理解したか。 ・教師のほうでわざと間違えて答えることで、どんな危険性があるのかしめす。

○授業の成果

- ・小学校2年生であっても、家庭のパソコンで遊んでいる子は結構多い。学校のパソコン教室も利用していくので、入門期の情報モラル教育は、大切である。今回はクイズ形式で取り組んだので、どの子も興味を持って取り組むことができた。

○指導のポイント・留意点

- ・教師のほうで、わざと間違った解答をすることで、子どもたちに危険性が理解させやすかった。